TDB Business View
2026/11/26

愛知県企業の平均借入金利 1.19%、4 年連続上昇 全国との差は 3 年連続拡大

上昇幅は 2006 年度以降で最大

愛知県・平均借入金利動向調査（2025 年度）

帝国データバンク

本件照会先

猿渡　映一（調査担当）
帝国データバンク
名古屋支店　情報部
052-561-4846（直通）

発表日

2026/11/26

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025 年度の愛知県企業の平均借入金利は 1.19%となり、4 年連続で上昇。前年度からの上昇幅は 0.15 ポイントと、調査を開始した 2006 年度以降で最大。コロナ融資の借り換えや一般融資における貸出金利の引き上げなどの影響が色濃く表れた。低金利の地域として知られる愛知県でも、着実に借入金利は上昇しており、設備投資意欲など企業活動への影響や地域金融機関のスタンスへの注目も高まっている。

帝国データバンク名古屋支店は企業単独財務ファイル「COSMOS1」（106 万社・880 万期）を用いて、非営利・特殊法人などを除く愛知県企業の 2006 年度～2025 年度の平均借入金利を算出し、集計・分析した

平均借入金利は、有利子負債（銀行等、保険、ノンバンク、個人借入などを含む借入金、社債、CP 等を含む総額）に対する支払利息の割合

本レポートでは、平均値にトリム平均を用いている。全体の最大値および最小値から合計 10%分のデータを除き、平均を算出した

※各数値は小数点以下第 3 位で四捨五入している

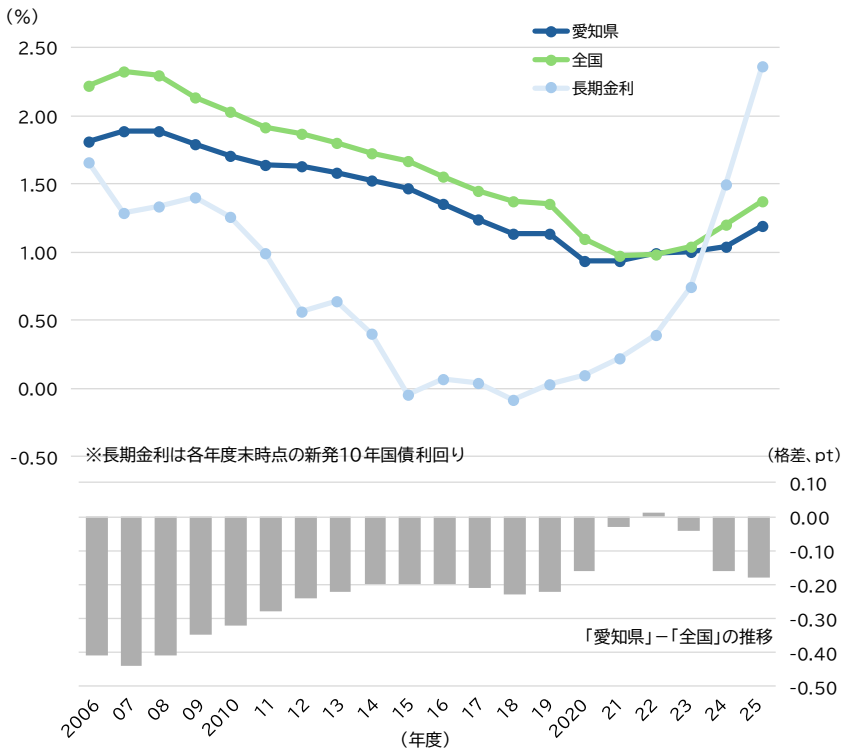
愛知県企業の平均借入金利は 1.19%、4 年連続上昇

2025 年度の愛知県企業の平均借入金利は 1.19%となり、前年度から 0.15 ポイント上昇した。上昇は 4 年連続で、上昇幅は、2006 年度の調査開始以降で最大となった。

平均借入金利の推移をみると、2007 年度・2008 年度（各 1.89%）をピークに下落傾向が続き、2020 年度には新型コロナに伴う実質無利子・無担保の融資（ゼロゼロ融資）拡大で大幅に低下した。ただし利子補給に関しては、融資実行段階から無利子となる「リアルタイム方式」と、事業者がいったん利子額を支払った後に自治体から支払った利子額が支給される「キャッシュバック方式」があり、愛知県では主に「キャッシュバック方式」が取られていたとみられ、他の都道府県に比べると下落幅は限定的だった。

2022 年度以降は緩やかながら上昇基調に転じ、ゼロゼロ融資の借り換えや一般融資における貸出金利の引き上げ、さらに 2024 年度以降は長期金利が急速に上昇したことも影響した結果、平均借入金利はコロナ禍前の水準に戻った。

平均借入金利の推移



年度	平均借入金利(%)			
	愛知県	前年度比(pt)	全国	前年度比(pt)
2006	1.81	-	2.22	-
2007	1.89	0.08	2.33	0.11
2008	1.89	0.00	2.30	▲ 0.03
2009	1.79	▲ 0.10	2.14	▲ 0.16
2010	1.71	▲ 0.08	2.03	▲ 0.11
2011	1.64	▲ 0.07	1.92	▲ 0.11
2012	1.63	▲ 0.01	1.87	▲ 0.05
2013	1.58	▲ 0.05	1.80	▲ 0.07
2014	1.53	▲ 0.05	1.73	▲ 0.07
2015	1.47	▲ 0.06	1.67	▲ 0.06
2016	1.36	▲ 0.11	1.56	▲ 0.11
2017	1.24	▲ 0.12	1.45	▲ 0.11
2018	1.14	▲ 0.10	1.37	▲ 0.08
2019	1.14	0.00	1.36	▲ 0.01
2020	0.94	▲ 0.20	1.10	▲ 0.26
2021	0.94	0.00	0.97	▲ 0.13
2022	0.99	0.05	0.98	0.01
2023	1.00	0.01	1.04	0.06
2024	1.04	0.04	1.20	0.16
2025	1.19	0.15	1.37	0.17

有力な地域金融機関が数多い一方で優良企業の多い「愛知県」は、“ナゴヤ金利”“三河金利”とも言われるような、全国屈指の低金利の地域である。「ゼロゼロ融資」の利子補給の方式の違いがあった 2022 年度を除くと、「愛知県」の平均借入金利は「全国」を下回る状況が続いている。

低金利順では「愛知県」は 5 位

都道府県別にみると、平均借入金利が最も低かったのは「奈良県」の 1.05%。以下、「香川県」(1.11%)、「鳥取県」(1.13%)と続いた。「愛知県」(1.19%)は低金利順では 5 位タイで、東海地区では「岐阜県」(1.26%)が 10 位タイ、「三重県」(1.39%)は 30 位タイとなった。

都道府県別の平均借入金利(2025 年度、低金利順)

都道府県	平均借入金利(%)	前年度比(pt)	都道府県	平均借入金利(%)	前年度比(pt)	都道府県	平均借入金利(%)	前年度比(pt)
奈良県	1.05	0.19	広島県	1.31	0.13	宮城県	1.40	0.11
香川県	1.11	0.18	島根県	1.31	0.13	福島県	1.42	0.14
鳥取県	1.13	0.19	埼玉県	1.32	0.19	新潟県	1.42	0.15
愛媛県	1.14	0.14	高知県	1.32	0.10	佐賀県	1.42	0.18
愛知県	1.19	0.15	福岡県	1.32	0.14	宮崎県	1.42	0.14
徳島県	1.19	0.11	群馬県	1.33	0.16	熊本県	1.44	0.13
岡山県	1.20	0.16	大阪府	1.33	0.23	岩手県	1.45	0.21
京都府	1.23	0.17	栃木県	1.34	0.14	茨城県	1.47	0.18
長野県	1.24	0.13	福井県	1.34	0.16	東京都	1.47	0.21
富山県	1.26	0.19	沖縄県	1.34	0.15	北海道	1.49	0.17
岐阜県	1.26	0.17	山形県	1.35	0.19	神奈川県	1.49	0.13
長崎県	1.26	0.12	滋賀県	1.36	0.17	静岡県	1.53	0.20
石川県	1.27	0.11	青森県	1.38	0.16	大分県	1.55	0.15
兵庫県	1.27	0.21	秋田県	1.39	0.14	山梨県	1.56	0.14
和歌山県	1.27	0.25	千葉県	1.39	0.17	鹿児島県	1.64	0.12
山口県	1.27	0.13	三重県	1.39	0.21	全国	1.37	0.17

まとめ

2025 年度の愛知企業の平均借入金利は 1.19%となり、4 年連続で上昇した。ゼロゼロ融資から一般融資への借り換えや返済が進んだことに加え、長期金利が大きく上昇したことなどによる基準金利の上昇が背景にある。都道府県別で見ても、すべての都道府県で平均借入金利が上昇した。

企業からは「金融機関から金利引き上げの要請を受けることが増えた」との声が聞かれる一方、金融機関からも「企業側に金利の引き上げが受け入れてもらいやすくなった」との声があがる。長期金利と平均借入金利の差が拡大していることを踏まえると、企業に対する平均借入金利の上昇圧力は、今後さらに強まる可能性がある。

預金金利の上昇は、手元資金の潤沢な企業にとって受取利息の増加などにつながり、一定のプラス効果をもたらす。しかし、過剰債務や収益力低下に直面する企業にとって、借入金利の上昇はさらなる利益の下押し要因となりかねない。さらに、大きな借り入れをしないで済む規模に収めようといった、設備投資の動きにも影響が及ぶ懸念がある。ローン金利先高観による住宅需要の低迷などもみられ、各企業が「金利のある世界」にどう順応していくかは、今後も重要な経営課題となってくるだろう。